

第 29 回 神奈川県移動性（モビリティ）向上委員会 議事要旨

1. 日 時：令和 6 年 2 月 27 日（火） 15:00～16:30
2. 場 所：よこはま新港合同庁舎 4F 災害対策室（一部 WEB 会議）
3. 要 旨：

- 令和 5 年度における主要渋滞箇所の見直し（解除）候補箇所について了承された。
- 「局所渋滞対策事業」の概要について報告した。
- 県内の交通状況の紹介について報告した。
- 最新の取組状況の紹介について報告した。
- その他として、県内における自動運転バス実証実験の実施状況について報告した。

4. 議 事：

（１） 委員会の検討経緯と論点について

- ・ 意見無し。

（２） 令和 5 年度における主要渋滞箇所の見直し（解除）について

- ・ 令和 5 年度における主要渋滞箇所の見直し（解除）候補箇所について了承された。

【意見】本町一丁目交差点に関連して、国道 16 号上り方向の渋滞は、令和 4 年の本町山中道路の無料化に伴いヴェルニー公園前、本町三丁目交差点に渋滞が移っただけではないか。（神奈川県警）

【回答】指摘の点について今後注視していく。なお本町一丁目については解除の方針でよいという認識でよいか。（事務局）

【意見】本町一丁目の解除の方針でよいと考える。（神奈川県警）

【意見】資料 P26 について、丸子橋入口交差点はボトルネックになってはいないのか。（委員長）

【回答】ボトルネックにはなっていないと認識している。（事務局）

（３） 「局所渋滞対策事業」の概要について

【意見】リバーシブルレーン是一般道で検討するのか。（神奈川県警）

【回答】できるような場所であれば、リバーシブルレーンも含めて検討していくという方針であり、導入するにあたっては、関係者との細かい協議が必要になると考えている。（事務局）

【意見】リバーシブルレーンは横浜市内でも過去に実施されていたが、事故が多く廃止することになっている。一般道のように上下が構造的に分離されていない箇所についての検討は慎重に行っていただきたい。（神奈川県警）

【意見】今までこのような局所渋滞対策は、交通安全を目的とした事業と併せて行っていた。来年度から渋滞対策を目的としての事業ができるということは大きな取り組みの前進と思っている。現地をよく確認しながら、現地に合った渋滞対策を少しでもやっていければと思う。（横浜国道事務所長）

【意見】資料 P2 右下フローの渋滞対策協議会等、が当委員会に該当する認識でよいか。（委員長）

【回答】その認識である。（事務局）

(4) 県内の交通状況の紹介について

- 意見無し。

(5) 最新の取組状況の紹介について

- 【意見】資料 P19 について、駐車場料金が改定されたとのことで効果は大きく出ていることが予想されるが、これによって駐車場の回転率が向上した等の結果があれば教えていただきたい。(委員長)
- 【回答】駐車場を管理している神奈川県公園協会へ状況を確認したところ、料金体系改定からまだ日が浅くデータがまだデータがとりまとめ切れていない状況とのことであったため、次回の委員会までの間に状況を確認して参りたい。(事務局)
- 【意見】2027年国際園芸博覧会について、出来ることは連携していければと考えているので、引き続き当委員会にも情報提供をお願いしたい。(横浜国道事務所長)

(6) その他について

- 【意見】自動運転に関しては道路管理者や交通管理者の協力のもと進めているため、引き続きよろしくをお願いしたい。なお、平塚市の自動運転バスの資料にあるように、神奈川中央交通株式会社保有するバスのカラーリングが変更になる。(バス協会)

以上